

Q

この中にいる「ヒグマ」
見つけられますか？

札幌の公園です。この中にヒグマの
等身大パネルがあります。目撃が多い若い
オスの平均的な大きさ。見つけられますか？

A

正解は… 赤丸で囲ったあたり。
見えませんね。

ヒグマは体が隠せる茂みや川を移動します。
みどり豊かな北海道には、住宅の近くにも
こんな「ヒグマの通り道」がたくさんあります。
人とお互いに気づかずに近づいてしまい、
ばったり出会うと、事故につながります。
「人の暮らし」の身近にある、出没の原因。
ひとり一人にもできる対策があるんです！

クイズで
身を守る

ヒグマ検定



PC/スマホからチャレンジ！

あなたや大切な人の命と暮らしを守る
知恵を、クイズで学んでみませんか。

ヒグマを目撃したときは
警察または自治体に連絡を！

最新の/
出没情報は

北海道庁HP
市町村ヒグマ関連
情報リンク集



北海道庁HP
ヒグマ注意報



北海道警察
地域情報発信室
X (旧 Twitter)



PICK
UP!



クマここ



ヒグマから身を守る基
本の知恵や道内各地からの教訓、市民にでき
る対策については「クマここ」で詳しくご紹介
しています。

ヒトとヒグマが 生きる道

「知ること」で
防げる被害があります



「ヒグマに出会ったら」より前に 「ヒグマに出会わないために」できることがあります

住宅地では



1 ごみのマナーを守る

当たり前のマナーが第一歩！

2 ヒグマの手が届かないように

ヒグマが開けないゴミ箱など工夫を。

3 草刈りをする

ヒグマの住宅地への通り道を遮ります。

4 電気柵を設置する

畑や家庭菜園で効果的。

5 放棄果樹を片づける

ヒグマを引き寄せる原因をなくします。

山に入るときは



1 音を出す

クマ鈴をつけたり、声を出したりヒグマに人の存在を知らせます。「音が出るものを持つ」だけでなく「音を出す」ことがルールです。

2 ひとりで行動しない

ヒグマともお互いに気づきやすくなります。もしものときも助けを呼べるなど、命まで失うリスクを下げることができます。

3 「意識」と「知識」を持つ

「ヒグマに会ってもおかしくない」という意識を持ちましょう。痕跡を見つけたら引き返すなど緊張感を大切に！

それでも出会ったら



まずは止まる！

絶対に走ってはいけません。

止まって、背を向けずヒグマのほうを見ながらゆっくりと後ずさりしましょう。もしものために、クマスプレーはすぐ使える場所に。

スプレーがないときや、うまくいかなかったときの「最後の手段」は？

ヒグマから身を守る知恵は「ヒグマ検定」で。

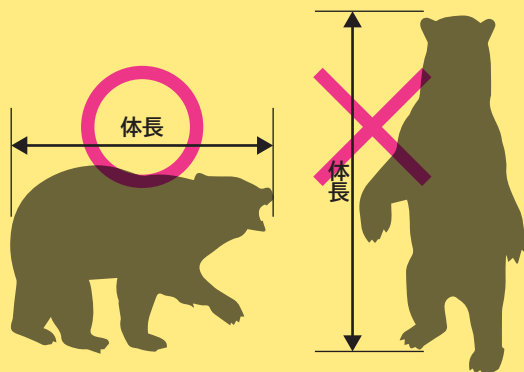
PC/スマホからチャレンジ！

ヒグマ検定

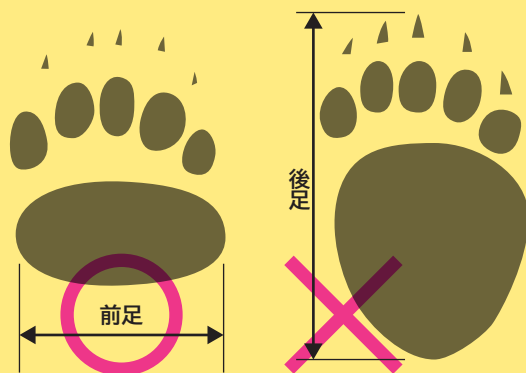


ヒグマの「大きさ」は ここを計測!

●体長 鼻先からお尻までの長さ



●足跡 前足の幅の長さ



人里周辺で、**ヒグマ**や**痕跡**を
発見した時は、**警察**または、
市町村役場にご連絡ください

ヒグマに注意! SNSやアプリなどの登録を

北海道では、近年、市街地にまで姿を現す
ヒグマが問題となっています。

北海道では、ヒグマが頻繁に市街地に出没
したり、ヒグマによる人身事故が発生した場
合に「ヒグマ注意報」「ヒグマ警報」を発出し、
SNSなどを活用して情報発信しています。

ぜひ、ご登録いただき、ヒグマの出没に備
えましょう。

北海道ヒグマ 登録して備える 注意報・警報



北海道庁公式
Twitter
@PrefHokkaido



Yahoo!
防災速報



北海道庁HP
ヒグマ注意報



あなたとヒグマの共存のための

ヒグマとの おつきあい

北海道の多くの地域は
ヒグマの生息地です。



北海道環境生活部

ヒグマの生態

●オス

体長：2.0m弱
体重：約150～400kg

●メス

体長：約1.5m
体重：約100～200kg

●聴覚

聴力に優れ、音に対しては敏感。

●視覚

昼夜を問わず行動できる視力を持ち、目は決して悪くはない。ただ、あまり遠距離の物はよく見えないらしい。

●嗅覚

敏感で、埋めた残飯などもすぐに見つけられます。



●性格

群れを作らず単独や親子で行動。大半のヒグマは警戒心が強く、人を避けて生活しています。

●運動能力

臨機の動作は非常に機敏。その気になれば一撃で牛を倒す事もできます。

人の活動での注意

●出没地域に住む人

ヒグマを引き寄せる生ごみなどを屋外に置かないようにしましょう。出没情報がある時には、夜間や薄暗い時間帯の外出を避けましょう。イヌの散歩は、吠え声でヒグマを興奮させる恐れがあり危険です。

●山菜採り

山菜はヒグマの生息地に生えていることが多いため、単独行動を避け、音を出しながら行動しましょう。

●キャンプ

ヒグマの痕跡のあるところでは、キャンプをしないようにしましょう。

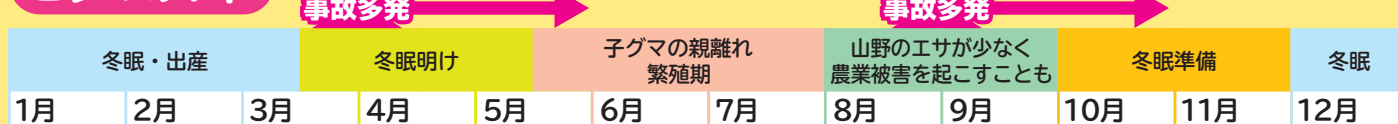
●渓流釣り

水流の音でヒグマも人もお互いに気づきにくくなっていますので、より注意をはらいましょう。

●登山

山はヒグマの生息地です。どこでも遭遇すると考えましょう。特に、早朝や日没頃の行動はヒグマと出遭う確率が高くなります。

ヒグマの1年



ヒグマとの事故をなくすために

登山・ハイキング・山菜採りなどでヒグマに出遭わないための行動

ヒグマの出没情報を事前に調べましょう！

市町村のホームページ、SNS、新聞、テレビ、ビジターセンターなどでヒグマの出没情報を確認しましょう。

音を出しながら歩きましょう！

単独で行動せず、複数人で会話しながら歩くと、ヒグマも人の存在に気がつきやすくなります。また、鈴を付けたり、見通しの悪い場所では、手を叩いたり、笛を吹くのもポイントです。

ヒグマの痕跡を見つけたら

ヒグマの足跡、フンや食痕に注意し、見つけたら、安全のために引き返しましょう。



足跡



フン(草本)



食痕(フキ)

ヒグマに出遭ってしまった場合

遠くにヒグマを見つけたら

落ちついて状況を判断してください。ヒグマがこちらに気づいていないなら、その場から静かに立ち去りましょう。

走って逃げるのは自殺行為

ヒグマを刺激しないことです。まず落ちついてゆっくりと後ずさりしてヒグマから目を離さず、その場から離れましょう。

ヒグマがこちらに気づいたら

ヒグマの移動する方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。あわてることは事故につながります。まず落ちつくことです。普通にしていれば、ほとんどのヒグマは立ち去るはずで。

子グマの後ろに必ず母グマあり

子グマを見つけたら絶対に近づかず、すみやかに立ち去ってください。母グマは子グマを守ろうと攻撃してきます。

可愛いからと近づかないで！

それでも近づいてきたら

ヒグマから視線をはなさないでください。そしてヒグマの動きを見ながらゆっくりと後退してください。

襲い掛かってきたら

100%完全な対応ではないですが

北米では、首の後ろを手で覆い、地面に伏して、頸部、後頭部への致命傷を防ぐ方法を勧めています。道内の死亡事故でもこの部分が致命傷となっている事例がみられます。攻撃を止めるためには、クマ撃退スプレーが有効です。

ほんとうの話



人がヒグマを引きつける？

ヒグマは食べ物への執着が非常に強い動物です。生ゴミ(コンポスト含む)や果物、干し魚などの人の食べ物の味を覚えてしまうと、それを目当てに家の近くに繰り返し接近し、人を恐れずに行動するようになります。ヒグマの出没地域に住む人や野山に出かける人は、十分に注意し、危険を避けましょう。



コンポスト



さくらんぼ